

区民と区長のタウンミーティング（2022年10月15日開催）

テーマ：文化・芸術の振興

●主な意見一覧

アール・ブリュットの振興に関する意見

アール・ブリュットを通じて、さまざまな人を理解する、理解し合えるようになることを目標としている。

アール・ブリュットは、「中野のまち中が美術館」のコンセプトの下、商店街での展示などを行っている。アール・ブリュットの振興に取り組んで10年経ち、認知度や理解が高まってきており、「継続は力なり」を実感している。アール・ブリュットがハブとなって、さまざまな人たちをつなげていると思う。中野のまちづくりに寄与するものになっているのではないかと思う。

多様性を受け入れ、認め合うことに努めている今の中野区政に、アール・ブリュットをはじめとした文化・芸術は、親和性が高いと思う。

身近な場所でアール・ブリュットに親しめるよう、企業や行政とのタイアップにより、取組をさらに展開していきたい。常設的にアール・ブリュットに触れられる機会や場所を創っていきたい。

文化・芸術を通じて、区民一人ひとりがさまざまな“枠”に気づいて、その当たり前に思っていた既成概念を見直すきっかけとなってくれることを願っている。

アール・ブリュットの実施を進める上でさまざまな規制やルールが障壁となるケースが少ない。中野区には、そういった規制などの緩和に尽力してほしい。

多様性を理解する上で、外国の方の視点が入ることが必要であると思う。さまざまな区政課題の対応を検討するにあたって、外国の有識者や専門家を登用することが有効だと考える。